

Mac Basic Course 2020 福岡

Digital Dentistryと言われて久しく、カルテが電子化され、口腔内写真がデジタル画像になり、X-rayもデジタルへと移行し、インプラント処置にはCT撮影、技工物はCAD/CAMが日常化してきています。そして、勉強会、学会での発表はスライドではなくPCで行うのが当たり前となりました。

臨床技術の研鑽が必要であるのは当然ですが、自分の思っていることを相手に伝えるプレゼンテーションの技術も重要となってきました。Macは直感的に扱うことができるので、多くの方がWinからMacにスイッチされています。しかし、見ようみまねで触っているだけで、Macならではの使い方をされているようには感じません。歯科用に扱いやすくセッティングし、Macの基本を理解すれば、効率よくプレゼンが作れるようになれます。

AppleのiCloudを活用すれば、口腔内写真を撮影するだけで、iPadで患者さんに撮影した写真をすぐに見せることができます。そして、自動的にiPadからMacへ写真が転送されます。Macの写真アプリでの写真管理は、フォルダによる写真管理とは比べものにならないくらい視認性に優れています。スマートアルバムを設定すれば、症例を自動的にフォローしてしてくれます。

1993年からMacを使い続けている私が、その他にも、お持ちのMacを最大限に活用する方法をお伝えしたいと思います。知っていると知っていないでは大きな差になります。今、デジタルの大きな波が押し寄せてきています。このまま飲み込まれるのではなく、デジタルの波に乗って次のステージに向かいましょう！

窪田 努

■日時 7月11日(土) 午後 2時～午後8時 「Macの基本」 「写真管理」
12日(日) 午前10時～午後5時 「Keynote」 ※土日の2日で1回コースです。

■場所 大博多ビル11Fリファレンス
福岡市博多区博多駅前2丁目20-1
TEL 092-292-5754

■用意するもの

Macノート型(2015年以降のモデル、メモリ8GB以上)
iPad、iPhoneのどちらか
マウス
SDカード対応カメラ(コンパクトカメラでOK)
FlashAir SDHCメモ리카ード

■受講費 ¥66,000
同伴者 ¥33,000 (同一医院スタッフ)

■コース内容

「Macの基本」

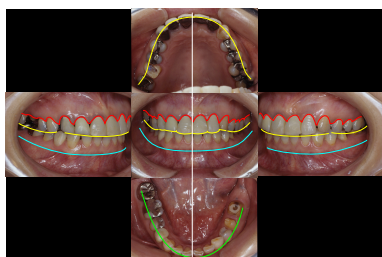
「効率をよくするMacの各種設定」
「推奨フリーソフトのインストール」
「Mac基本動作(ドラッグ&ドロップ、選択、移動&コピー、保存)」
「ショートカット」
「Quick Look」
「Air Drop」
「Mission Control」
「日本語入力(歯科専用辞書)」
「PDFへの書き出し」
「バックアップについて」

「写真管理」

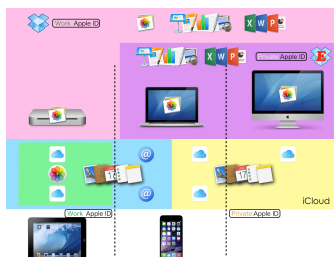
「カメラからiPadへ一括転送(FlashAir)」
「iCloudによるiPadからPC(Mac、Win)への自動転送」
「Photosによる写真管理」
「症例を自動的にフォローしてくれるスマートアルバム」
「Keywordによる検索」

「Keynote」

「Keynoteのバージョンを追って出来ることを解説」
「Keynoteの設定」
「写真の一括貼り付け、リサイズ」
「写真の修正」(Photoshopなど専用ソフトは使いません)
「文字の入力の基本」
「オブジェクトの効率的な配置・配列」(コピー&ペーストの応用)
「より効果的なアニメーション」
「より分かりやすくするための曲線(歯頸ライン)」
「プレゼンテーションの実際」(プロジェクターとの接続)
「発表者ノートの活用」
「プレゼン時のトラブルシューティング」
「iPadによるプレゼンテーション」



「より分かりやすくするための曲線(歯頸ライン)」



「iCloudの設定」

お申し込み

isight.mac.course@icloud.com

メールにてお申し込みください。